労働

(2)

ろうかく 同民俗は値上したにかゝわらず工
賃を値上しないところに存する。

此の上つたか否かは疑問の状態なので

(3)

ある。

その事実

その為めに、前の物価騰貴等委員会は、そ

れを、(物価騰貴の時代に、)是れ唯の、今は中

外の立場をとりつゝある。

(1) 本会議の主体はあの石山の主なる同民(即

ち浅田家一系は同族会社の同民の雇人

陸が観業に参加するに過ぎない。其の動は全